

『好き』 作：ポチ子

自分の事は好きだ。

特に嫌いなところはない。

人並みに優しいし、

冗談もそれなりに通じる。

性格も悪くないと思う。

でも、周りの人は違うみたいだ。

自分の言いたいことは5割も伝わらないし、

気を使ってしたことは気づかれない。

何か失敗したときは怒られて、

しなかったことだけは目立つ。

冷たい目で見られるたびに、

自分と他の人の何が違うのか分からない。

皆と同じように生きているつもりだし、

変わったところなんてないのに。

なのに、うまくいかない。

帰り道に今日の事を反省する。

あれがいけなかったのか、

それともコレかな。

どんなに考えても答えが見つからない。

だから次の日も同じ目で見られて、

また反省する。

繰り返して、繰り返して、

気づくと次の日になっている。

時間だけが過ぎて行って、

私はきつと何も変わらないままだ。

— 終わり —